

旧支所の利活用に向けたサウンディング（対話型市場調査）の結果

平成31年3月に廃止となった3つの旧支所建物の利活用に向けて、サウンディングを実施しましたので、その結果を公表します。

なお、参加者の知的財産保護の観点から、公表の承諾を得られた内容のみを公表します。

1 対象施設 旧大窪支所、旧曾我支所、旧片浦支所

2 実施日 1月15日（金）～1月26日（火）

3 参加者 12者

4 結果

ア 本調査への参加理由について

- ・対象施設の利活用に興味があるため。
- ・当該エリア内で、事業用の物件を探しているため。
- ・公民連携事業を拡大していきたいため。

イ 利活用のイメージについて

※公表なし

ウ 事業期間について

- ・1年更新、5年程度、10年以上の希望がありました。

エ 事業スキームについて（賃貸・売却等の希望）

- ・土地建物の購入、土地は賃貸し建物を購入、土地建物の賃貸の3パターンの希望がありました。

オ 想定する改修工事の内容について

- ・水回りの改修、畳替え、空調設備や照明設備の設置が必要という意見が多くありました。

カ 耐震性に対する考え方について

- ・耐震補強は大家が負担することが通例だが、市で対応しない場合は家賃を安くしてほしい。
- ・補強を必須とするのであれば市で負担してほしい。

キ 想定される課題について

- ・市街化調整区域に立地する旧曾我支所と旧片浦支所は、用途制限が厳しい。
- ・旧大窪支所と旧曾我支所は、敷地内に駐車場スペースがあまり取れない。

ク 提案募集時に市から提示してほしい資料やその他要望について

- ・図面や耐震診断の結果を開示してほしい。
- ・外壁の一部を解体し、筋交いの有無など事前に確認したい。

ケ 希望する賃料について

※公表なし